

学長メッセージ

～ ふれあえない今こそ ～

感染症が人々の接触や往来を制限しても、歴史を重ねて作り上げてきた「ふれあい」の文化は決して廃れない。

昨年度末から新型コロナウイルス感染症が世界中を蝕み、日本でも猛威を振るった結果、新年度は何もかもが異例で特別なものになっています。本学でも熊本地震以来の非常時の対応となり、学生諸君をはじめ各方面に多大なる苦労をおかけしました。めまぐるしい事態変化に対処し、試行錯誤を繰り返しながら今日を迎えておりますが、いまだ正常化の見えぬ状況です。

学生諸君には、予定していた授業形態がかなわず、諸活動や施設利用を制限するなど不満の残る学生生活であるだろうと推察します。いわゆる 3 密を避ける感染防止対策として、急遽オンラインによる遠隔授業を多用して前期をしのぎましたが、事態の収束が見込めぬなか、当面は改善を施しながらも同様の授業形態を取ることになります。不自由もあるかと思いますが、教員がみな創意工夫をして教育の質を落とさぬよう尽力していますので、ものごとに順応する精神を大切に、向学心を保って勉学に励んでください。また、どんなときでも人を思いやる優しい心を忘れず、人が人と「ふれあう」ことを欲し貴んでください。

ご父母および関係者のみなさまにおかれましても、大学として出来得るかぎりの努力にご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 2 年 8 月 18 日

熊本県立大学 学長 半藤 英明